

### 全てを失った人々への支援

アジアを紡ぐ会(以下ASA)が支援しているスリランカは、インドの南、赤道付近に位置する島国です。1983年以降25年以上にわたり、政府軍と反政府武装組織の間で紛争が続いていました。ASAは、終結後の2010年11月から、マナー県北東部に位置するシードウビナーヤカ村に難民キャンプから帰還して再定住する住民に対し、住宅や井戸建設、農業や幼児教育の研修などの生活支援を始めました。

そして、これらの事業を通じてASAが特に力を注いだのが、住民への自立支援です。

具体的な内容として、

#### ・人材育成

①現地のスリランカ人リーダーに、活動の内容や行政機関・商人との交渉方法を教え、リーダーの指示のもと、住民が事業を実施。

②住民に対し、セメントなど資材購入のために必要な外部交渉の訓練を実施。

#### ・コミュニティの再構築

①給水パイプや井戸の建設工事を住民が中心となって実施。

②歯磨き・手洗い・食育の保健衛生習慣の向上や、幼児教育の充実についての活動を実施。

が挙げられます。

計画から実施までは数か月を要するため、途中、大雨洪水等で計画変更を余儀なくされたことも。それでも現地の行政機関を巻き込みながら住民との話し合いを繰り返し、成果を上げていきました。



井戸建設について話し合いをするASAスタッフと住民

### 住民の想いが形に



歯磨き指導を受ける幼稚園児と保護者達

紛争で全てを失った人々が生活を立て直していくことを目のあたりにできたのは、草の根で、小さな規模での支援を継続して行っているからこそ。生活を復興させようという住民の想いが、支援を得て形になっていくのを見るたびに、今後も支援を続けられるように頑張っていきたいという気持ちになります。

ASAは、アジアの人々が心豊かな生活を送れることを目指し、これからも人と人をつないでいきます。